

梅窓院通信

No.127
2023/10/01

青山



最勝宝塔の紅葉の様子

住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島真成

時が過ぎるのは早いもので、令和五年も秋のお彼岸を迎える頃となりました。今年には特に暑い夏となりましたが、皆様大過なく過ごされましたでしょうか。

さて、浄土宗のお寺では爽りの秋に合わせて、五穀豊穣への感謝と、普段の念仏の他に特別に念仏を称える法要として十夜会を催しています。梅窓院でも二十年前から十夜会を開催していますが、芋煮会も同時開催し、法要後に皆様とご一緒してきました。コロナでライブ配信になり、昨年からは十夜法要の参列は再開しましたが、芋煮会の代わりにクッキーを配らせて頂きました。今年からは一軒に一折で恐縮ですが、お赤飯をお持ち帰り頂く予定です。できれば顔を合わせながらのお齋とぎが望ましくはありますが、こうした形にさせていただきます。

なお、今回の十夜では法要、法話に続いて、浄土宗東京教区城南組大信寺住職の中村孝之上人が、普段読むお経と法然上人の「一枚起請文」に曲をつけ声楽でお届けします。ピアニストやテノール歌手にもご登場頂きます。来年、令和六年は法然上人が浄土宗を立教開宗して八五〇年目となります。それに合わせた記念のミニコンサートとなります。皆様、どうぞお誘い合わせのうえ、法要からご参加下さい。

最後に工事のお知らせをひとつ。二十年前に施工した墓苑内の参道ですが、当時は最新最善とされたアスファルトでしたが、経年劣化でだいぶ傷んできました。そこで最新のゴムチップ製のラバーコートをお敷くこととしました。幼稚園や公園で見かけるようになったソフトタッチの敷き物です。いま注目の素材で、転んでも大丈夫、雨でも滑らないという安全な参道になります。色は梅窓院のイメージカラーの緑色にしました。

あくまで予定ですが、工事期間は十、十一月の二か月を予定しております。その間ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願い致します。



十夜法要

十一月十八日(土)

十夜法要

十四時～

二階本堂

法話

法要終了後～

二階本堂

講師 藤倉浩輝 上人

演奏「浄土の調べ」／之^し音^{おん}企画

十五時半～

地下二階祖師堂

今年の十夜会はお参りに来て頂いた方へ一軒につき一折、

お赤飯をお渡し致します。

ご出席される方は同封のハガキのご返信を必ずお願い致します。
当日は代表の方のみ一階観音堂受付にお立ち寄り下さいませ。

※祖師堂入口はご利用頂けませんので、ご注意下さい。

※十六時終演予定です。

※内容や場所の変更になる場合がございます。

※会場内の空調は微調整が難しいため、ご自身で温度調整できる服装で

ご来寺下さい。



今年の十夜法要で法話をされる藤倉浩輝上人

十夜によせて



皆さん、こんにちは。世界中を混乱させたコロナウィルスでしたが、第五類に移行し、さらにワクチンの普及などにより、ようやく落ち着いてきましたね。その中でどのようにお過ごしでしょうか。

今年もお十夜会に際して、法話を担当させていただく運びとなりました。今回は「自分は幻」と題してお話をさせていたただこうかと思えます。自分は幻？何を言っているんだ？と疑問に思われる方が多いと思いますが、実はお釈迦様が説かれた中に、このような教えがあるのです。詳しくは「諸法無我」と呼ばれるものです。「三法印」と呼ばれる、仏教の根本的な理念の一つです。あのお釈迦様がおっしゃったとは言え、中々分かりづらいですし、信じられな

十夜法要とは

浄土宗が大切にしている声に出すお念仏。十夜会はこのお念仏をみんなで一緒に称えましょうという特別な行事です。秋の行事で、天地の恵みへのお礼の気持ちも込める法要になります。

十夜回向に関するお知らせ

十夜法要に関しましては、「塔婆」お申込みのほか、「回向のみ」のお申込みができます。それぞれ冥加料が異なりますのでご注意ください。また、塔婆、回向のみは「〇〇家先祖代々」のみとさせていただきますのでご了承下さい。

塔婆回向 一本 一万円
回向のみ 一霊 五千円



昨年の十夜法要

●お申込み方法

同封はがきにご記入の上、11月10日(金)必着でお申込み下さい。
はがきの書き方は同封の「書き方例」をご参照下さい。

●お支払い方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当院受付までお持ち下さい。
銀行・コンビニでのお支払いはできません。
また、払込取扱票に記載の口座番号00130-4-93033はお支払い金額ではございませんので、ご注意ください。

●お塔婆のお渡し

当日のお渡しはございません。
後日、僧侶にて建てさせていただきます。
ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。

法然上人浄土宗開宗八五〇年記念

ミニコンサート

「浄土の調べ」

来年、令和六年は法然上人が浄土宗を立教開宗して八五〇年目となります。それを記念してミニコンサートを行います。法話後に東京三田・大信寺三味線寺住職の中村孝之上人による法然上人の想いを旋律に乗せた「浄土の調べ」を、声楽・ピアノの演奏とともにお楽しみ頂きます。

演奏からのご鑑賞はご遠慮頂いておりますので、法要からのご参列をお願い申し上げます。一般の方も参列、観賞ができますので、ご家族・お友達をお誘い合わせの上お越し下さい。入場無料です。詳細は四面をご覧ください。

いですよね？ですので、この「諸法無我」を脳科学の観点でお伝えすることに挑戦したいと思います。

なぜこれをお話しようかと思ったのか。そのキッカケはコロナウイルスに罹患した時です。お恥ずかしながら、実は一度罹患し、隔離療養を余儀なくされたことがあります。その時に「ああ、なんで僕が。」「とか「なつてしまった。」「重症化するのが怖い。」「など、ネガティブな感情がどんどん込み上げてきました。ですが、それも最初だけで、「諸法無我」について調べたことによる学びによって、ずいぶん気持ちが軽くなったものです。もちろん私の勝手な解釈が多いにありますが、「それは違う！」といった反論があるかもしれないが、なぜ隔離療養になった時に気持ちが軽くなったのかを、お時間が許す限りお話しできればと思います。

まだまだコロナウイルスが完全に終息したわけではないので、お寺では万全の態勢を整えております。今年も皆さんとお会いできることを楽しみにさせていただきます。

(法務部 藤倉浩輝)

ジャパンエキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

先日ひさしぶりにお会いしたお檀様が、梅窓院通信『青山』を楽しみにしていると伺ってうれしかったです。

話は変わりますが、お参りをお急ぎの方がお線香を持ってちょっと小走りになっていたりします。墓石は硬いのですが同じくらいの硬さのものと接触すると「あら？」というくらい簡単に欠けてしまいます。墓石が欠けたらショックですが、身体にぶつくと結構なお怪我になります。指輪などの貴金属でも墓石にキズがつくこともございます。お参りはゆっくりしたいものです(私はせっかちなので真夏など手を合わせたかどうかも覚えていないレベルですが…)。あとお線香をお供えすると石が熱くなります。そこに水をかけると石が割れる原因になりますのでご注意ください。

注意ばかりで恐縮ですが、皆様が気持ちよく安全にお参りできるようにお願い申し上げます。暮れのお掃除や代参の申込みもそろそろご予約ください。
墓苑事業部 森

お檀家さんに伺いました

令和5年 大施餓鬼会法要にて

「積み重ねてきたご縁の長さ」

梅窓院は、子供の頃ですが1940年代あたりから記憶にあります。お寺には色々遊具があって、それを楽しみによく伺っていました。もちろん、先代住職のことも知っていて、とても優しい方という印象を受けました。

梅窓院は色々な行事があって、以前、境内で踊った郡上踊りや、写経、ピアノリサイタルなど様々な体験をさせてくれる大切な場所です。

活動報告

岐阜県郡上市中学生 港区交流活動

8月8日(火)

郡上市・港区の交流事業の一環として4年ぶりに郡上市の中学生の皆さんが梅窓院を訪れ、ご僧侶のお話を聞いたあと、青山家のお墓参りをされました。

郡上藩主・青山家墓所へ向かう様子

行事予定

■ 十夜法要 11月18日(土)

14:00～ 十夜法要・法話／2階本堂

法然上人浄土宗開宗850年記念

15:30～ ミニコンサート／地下2階祖師堂
演奏「浄土の調べ」

曲目「月影」・「開経偈」・「一枚起請文」…他

※中村孝之上人作曲の作品を中心に、音楽によって浄土の世界を表現して頂きます。

出演者 中村孝之上人より

「楽」の調べは浄土を想い描くことができます。

私、中村は昨年夏、虎の門病院に通院した際、意識を無くしました。一歩間違えば危なかったという臨死体験でした。しかし、病院であったことが幸いし、こうして現在に至っております。

それまでも作曲活動をおこなっていましたが、今回の経験が、より浄土の世界を描くことに役立っております。皆さまに私が感じた浄土の世界を、浄土宗のお経とともに音楽で御見せ出来れば幸いです。

とくに「一枚起請文」は法然上人の御遺訓でございます。その言葉を歌として皆さまに受け取っていただきたく存じます。

さらに詳しいプロフィール等の詳細は梅窓院ホームページをご覧ください。

梅窓院
ホームページの
QRコード



出演者プロフィール



中村 孝之(作曲家)

東京三田・大信寺三味線寺住職。
之音企画を主催。
聴きやすく、口ずさみやすい旋律にのせ、
浄土を思い描かせる楽曲を作曲する。



渡邊 公威(テノール)

国立音楽大学卒業、及び同大学院修了。
文化庁新進芸術家海外研修制度にて
ローマに留学。東京二期会会員。
国立音楽大学非常勤講師。



黒木 直子(ピアノ)

東京音楽大学ピアノ科卒業、
同大学研究生チェンバロ科1年修了。
欧州各地にて研鑽を積む。
多くの音楽家から信頼を得て活躍中。



村林 徹也(バリトン・司会)

国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。
演奏活動にとどまらず舞台の企画や
制作など多方面に活動をおこなっている。
東京二期会会員。

発行／梅窓院
発行日／令和5年10月1日
発行人／中島 真成
編集／梅窓院 広報檀信徒部

住所／〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38
電話／03-3404-8447
FAX／03-3404-8107
ホームページ／<https://www.baisouin.or.jp/>

E-Mail／jodo@baisouin.or.jp
題字／中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡